

防犯対策「初冬号」



令和7年12月16日発行
(公社) 滋賀県防犯協会



早いもので、今年もあとわずかとなりました。

年末年始は、何かと忙しく、防犯への意識が行き届かなくなりがちです。

こんな時期だからこそ、防犯を意識し、巧妙・多様化する詐欺や強盗、帰省や旅行等 домаを長期間空けた際の「空き巣」に注意してください。

また、近年「ボイスフィッシング（ビッシング）」による企業を狙った不正送金被害が全国的に拡大しており、先月は県内においても多額の被害が発生しています。

【年末年始は防犯対策をしっかりと！】

○空き巣対策

- ・ 年末年始の時期は、帰省や旅行のために自宅を長期間留守にすることから、空き巣被害の可能性が高まります。

- ・ 出かける前にはしっかりと自宅のすべての鍵がかかっているか確認しましょう。



2階の窓や普段から忘れがちな場所も要チェックです。

元々付いている鍵のほかに「補助錠」を付けるとさらに安全です。

- ・ 留守であることがわからないように、新聞や郵便物の配達を止めるなどの手続を行い、郵便受けが溜まらないようにしましょう。



- ・ また、近くに住む親類や親しい人などに留守にすることを告げ、見守りなどをお願いしましょう。

- ・ 照明のタイマーなどを活用して夜間に電気が点くようにしましょう。

【電話を利用する「ボイスフィッシング」被害が発生！】

○ボイスフィッシングの手口は？

- ・ 実在する金融機関を装って企業に自動音声で電話をかけ、メールアドレスを聞き出して偽サイトに誘導し、アカウント情報等を入力して法人口座から資産を不正に送金するものです。

- ・ 偽サイトは本物のインターネットバンキング画面に非常によく似せて作られており、通常の業務の中で慣れていない担当者が見抜くのは簡単ではありません。

○滋賀県内でも発生

- ・ 11月25日以降、滋賀県内でも地元金融

機関を騙る電話により18の事業所が相次いでフィッシング詐欺の被害に遭っており、合わせて約3億4000万円が不正に送金されたと報道されています。

○こんな電話は偽物の可能性大！

- ・ 発信元番号が国際電話（＋（国番号）、または非通知となっている
- ・ 自動音声ガイダンスが流れたのち、人間の声に切り替わる
- ・ 通話中にメールアドレスを聞かれ、リンク付きメールが送られる

○被害を防ぐためには

- ・ 銀行等からの電話に疑わしいところがあれば、一度電話を切り営業店や代表電話で本物かどうか確認してください。
- ・ インターネットバンキング利用時は、メールに記載されているリンクからアクセスせずに公式サイト・アプリからアクセスしてください。
- ・ もしも被害に遭ってしまったら、すぐに警察に通報・相談をしてください。



本年も大変お世話になり、ありがとうございます。
来年もよろしくお願い致します。

